

MPE720 バージョンアップ情報

1 . 機能追加・改善項目

MPE720 Ver5.43 →Ver5.44 の機能追加・改善項目は次のとおりです。

N o .	機能項目	分類
1	モーションプログラム 1 行コメント対応	機能追加
2	MECHATROLINK- 分散 I/O モジュール対応	機能追加
3	M-EXECUTOR 機能対応	機能追加
4	シーケンスプログラム機能対応	機能追加
5	CF カード転送機能対応	機能追加
6	転送機能改善	機能追加
7	機能選択フラグ処理の改善	機能追加
8	インストーラの改善	未然防止
9	新規モード転送時の図面マップ処理不具合	未然防止
1 0	PFORK ネストエラーの検出	未然防止
1 1	モーションプログラム PFORK-SFORK 保存改善	未然防止
1 2	新ラダークロスリファレンス不具合改善	未然防止
1 3	モジュール構成定義チェック処理不具合対応	未然防止
1 4	M-EXECUTOR 定義保存不具合	未然防止
1 5	モジュール変更時のレジスタ範囲チェック不良	未然防止
1 6	CNTR-01 印刷結果の誤り	未然防止
1 7	シンプルオペレーションでウィザードが不正終了する	未然防止
1 8	デバッグ運転における PFORK 内カレントステップ位置の誤動作	未然防止
1 9	サーボバックパラメータバックアップファイル内のバージョン情報に関する問題	未然防止
2 0	ラダー表示更新不具合	未然防止
2 1	サーボバック現在値取得時の不具合	未然防止
2 2	モーションプログラム保存特権不具合	不具合修正
2 3	シンプルモード表示不具合	不具合修正
2 4	モーションプログラムシングルコート使用不具合	不具合修正
2 5	アプリケーションコンバート不具合	不具合修正

2 . 修正内容説明

No.1 モーションプログラム 1 行コメント対応

モーションプログラムに 1 行コメント命令「//」を追加しました。
「//」以降から改行までをコメントとして取り扱います。

GROUP1		
00001	00000	mw10=1;
00002	00001	mw11=2;
00003	00002	mw12=3;
00004	00003	mw13=4;
00005	00004	mw14=5;
00006		//mw15=6;
00007		//mw16=7;
00008	00005	mw17=8;
00009	00006	mw18=9;
00010	00007	mw19=20;
00011	00008	mw20=21;
00012	00009	end;
00013		

No.2 MECHATROLINK- 分散 I/O モジュール対応

MECHATROLINK- 分散 I/O モジュールである I02900/2910 に対応しました。

機器名称	仕様
JAMSC-I02900	・ DC 出力モジュール ・ DC12/24V , 16 点出力
JAMSC-I02910	・ DC 入力モジュール ・ DC12/24V , 16 点入力

<対応機種>

コントローラ	対応バージョン
MP2000 シリーズコントローラ	Ver2.66 以降
オプション SVB	Ver1.24 以降

< MECHATROLINK- 選択時 >

PT#: -- CPU#: --

パラメータ設定 リンク割付 I/Oマップ ステータス

ST#	TYPE	D	INPUT	SIZE	D	OUTPUT	SIZE	SCAN
01								
02	ABS_CODE							
03	****I/O							
04	120DRA03030							
05	120DA153330							
06	120DA173330							
07	120DD134330/102300							
08	120DD084340/102310							
09	120AV102030							
10	120AV001030							
11	120EHC21140							
12	120MMD20230							
13	120DA083330							
14	VS-676HS							
15	VS-676HST							
16	VS-618GS							
17	VS-7Series							

< MECHATROLINK- (32/17 バイトモード)選択時 >

PT#: -- CPU#: --

パラメータ設定 リンク割付 I/Oマップ ステータス

ST#	TYPE	D	INPUT	SIZE	D	OUTPUT	SIZE	SCAN
01								
02	SteppingMotorDRV							
03	****SERVO							
04	JUSP-****M****							
05	JEPMC-102310/30							
06	JEPMC-102320							
07	JEPMC-PL2300							
08	JEPMC-PL2310							
09	JEPMC-AN2300							
10	JEPMC-AN2310							
11	SVB-01							
12	YV250							
13	AD023-MI							
14	****I/O							
15	102300							
16	102310							
17	VS-7Series							

No.3 M-EXECUTOR 機能対応

MP2100/MP2100M に M-EXECUTOR 機能を追加しました。

リンク設定 使用/未使用

リンク1 未使用

リンク2 未使用

リンク3 未使用

リンク4 未使用

コントローラ

リンク1 | リンク2 | リンク3 | リンク4

No. 00 01 02

リンク1 1100W/2500W SVB-01 2631F-01

リンク2

2100M/2500M: CPUモデルです。I/O、ネットワークモデル、夜間運転も内蔵しています。

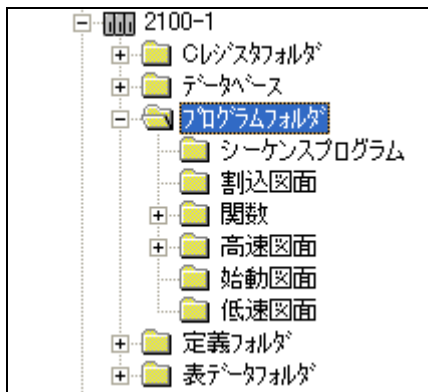
モジュール詳細 MP2100M RACK001 SLOT000

No.	CPU	1	2	3	4	5	6	7	8
リンク1	10	10	10	10	10	10	10	10	10
回路番号	-	-	-	-	-	-	-	-	-
入出力先アドレス番号	0000	0000	0002	0000	0000	0000	0000	0000	0000
入出力終了アドレス番号	0000	0001	0003	0000	0000	0000	0000	0000	0000
入出力アドレス	Enable	Enable	Enable	Enable	Enable	Enable	Enable	Enable	Enable
出力アドレス	Enable	Enable	Enable	Enable	Enable	Enable	Enable	Enable	Enable
リンク1先アドレス番号	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
リンク2先アドレス番号	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000
回路	MECHATROLINK								
リンク2									

M-EXECUTOR: プログラム制御機能です。

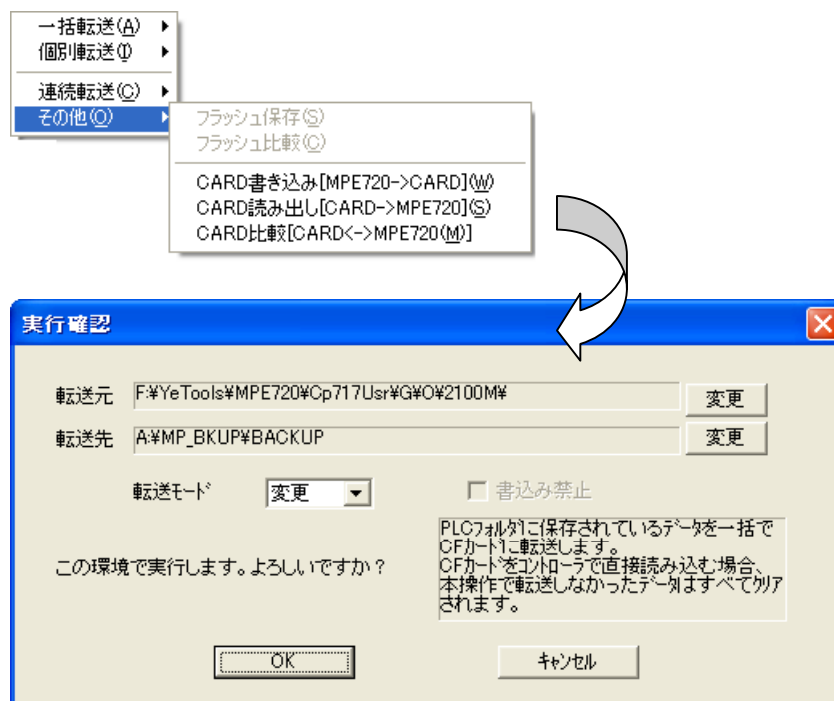
No.4 シーケンスプログラム機能対応

MP2100/MP2100M でシーケンスプログラム機能に対応しました。



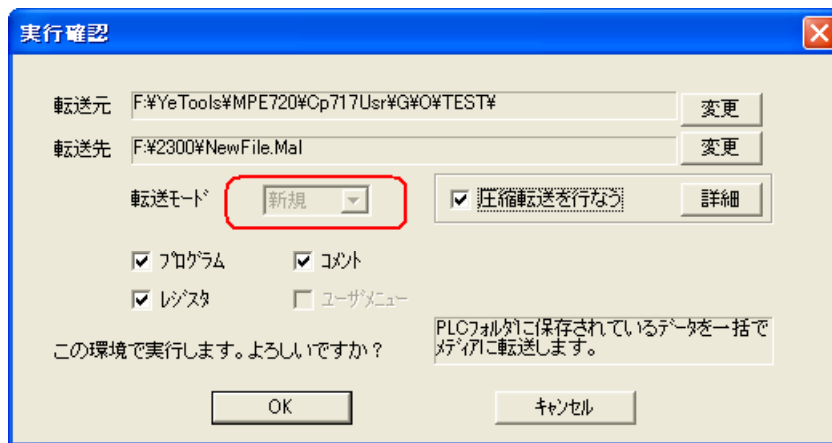
No.5 CF カード転送機能対応

これまで MP2200-02 を選択時のみサポートしていた CF カード転送機能を MP2000 シリーズ全機種に展開しました。



No.6 転送機能改善

転送処理において、圧縮転送を選択すると内部の転送モードは「新規」で転送していますが、転送画面には「変更」と表示されていました。このため、圧縮転送時の転送モードは「新規」と表示するようにしました。



No.7 機能選択フラグ処理の改善

コントローラがバージョンアップによって新規に追加される機能がある場合、オフライン時は、その時点の MPE720 で使用可能な機能を全て使用できるようにしました。オンライン時は、接続しているコントローラがサポートしている機能を取得して、そのコントローラが使用可能な機能のみを有効にするようにしました。

No.8 インストーラの改善

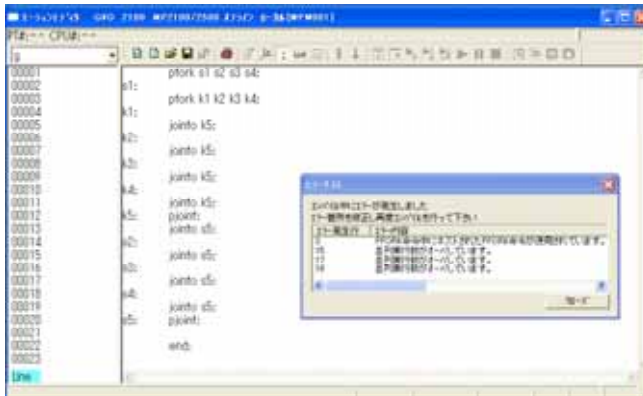
使用する PC 環境にあらかじめインストールされているアプリケーションによっては、MPE720 のインストールが正常に完了しない問題が発生することがありましたので、これを修正しました。

No.9 新規モード転送時の図面マップ処理不具合

「新規」モード転送時、転送先のフォルダ内のプログラム情報を削除してから転送する仕様になっていますが、モーションプログラムとシーケンスプログラムに関しては、転送先のマップ情報を削除していませんでした。このため、すでにプログラムが存在するフォルダに「新規」転送を行った際に、実体が存在しないプログラム情報が残ることがありましたので、これを修正しました。

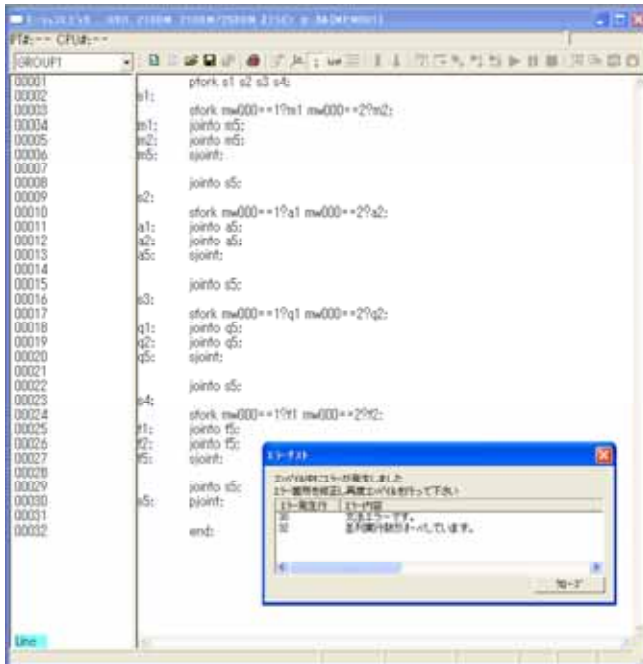
No.10 PFORK ネストエラーの検出

モーションプログラムで PFORK を入れ子にして記述した場合、オンライン時はエラーが検出されますが、オフラインではエラーが検出されませんでしたので、これを修正しました。



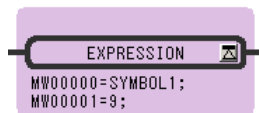
No.11 モーションプログラム PFORK - SFORK 保存改善

PFORK 命令で 4 並列分岐し、それぞれの並列処理内で SFORK 命令を使用すると、並列実行数が制限内にもかかわらず「並列実行数オーバ」というエラーが発生していましたので、これを修正しました。



No.12 新ラダークロスリファレンス不具合改善

Expression 内に複数行の式を記述し、その中で以下のようなシンボルとレジスタを混在した演算式を記述します。



シンボル割付：SYMBOL1=MW900;
MW000, MW001 はシンボル割り付け無し。

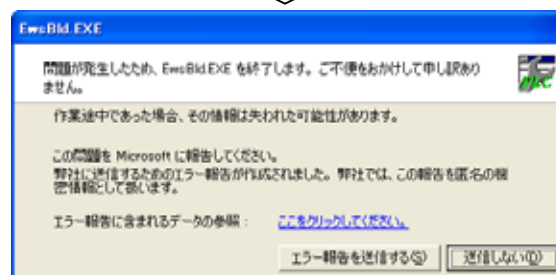
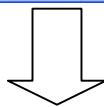
この状態で MW001 を検索すると、クロス検索結果として MW001 にシンボル「SYMBOL1」が割り付けられているとして検索される問題がありましたので、これを修正しました。

No.13 モジュール構成定義チェック処理不具合対応

HDD とコントローラでモジュール構成定義数が異なるデータが存在しても不一致を検出していませんでしたので、これを修正しました。

No.14 M-EXECUTOR 定義保存不具合

M-EXECUTOR 画面で、プログラム登録個数を 16 個に設定して保存すると異常終了することがありましたので、これを修正しました。



No.15 モジュール変更時のレジスタ範囲チェック不良

サブスロットを 2 つ持つオプションモジュールを割り付け、詳細定義を保存した状態でオプションモジュールを 1 スロットのものに切り替えるとレジスタ範囲チェックが正常に実施されていませんでしたので、これを修正しました。

コントローラ

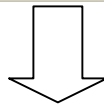
No.	00	01	02	03
モジュール	NSC50-02	UNDEFINED	UNDEFINED	LIO-02
制御CPU番号	-	-	-	-
回路番号	-	-	-	-
入出力先読みレジスタ番号	----	----	----	----
入出力終了レジスタ番号	----	----	----	----
入力DISABLE	----	----	----	----
出力DISABLE	----	----	----	----
モジュール先読みレジスタ番号	----	----	----	----
モジュール終了レジスタ番号	----	----	----	----
詳細				
メモリス				

LIO-02: I/O(Source)とカンパ機能をもつモジュールです。

モジュール詳細 LIO-02 SLOT#03

No.	1	2
モジュール	LIO	CNTR
制御CPU番号	-	01
回路番号	-	-
入出力先読みレジスタ番号	0C40	0C42
入出力終了レジスタ番号	0C41	0C41
入力DISABLE	Enable	Enable
出力DISABLE	Enable	Enable
モジュール先読みレジスタ番号	----	----
モジュール終了レジスタ番号	----	----
詳細		
メモリス		

LIO: Local I/O機能です。



コントローラ

No.	00	01	02	03
モジュール	NSC50-02	UNDEFINED	UNDEFINED	LIO-04
制御CPU番号	-	-	-	-
回路番号	-	-	-	-
入出力先読みレジスタ番号	----	----	----	----
入出力終了レジスタ番号	----	----	----	----
入力DISABLE	----	----	----	----
出力DISABLE	----	----	----	----
モジュール先読みレジスタ番号	----	----	----	----
モジュール終了レジスタ番号	----	----	----	----
詳細				
メモリス				

LIO-04: I/O(Sink)をもつモジュールです。

モジュール詳細 LIO-04 SLOT#03

No.	1
モジュール	LIO32
制御CPU番号	-
回路番号	-
入出力先読みレジスタ番号	0C40
入出力終了レジスタ番号	0C41
入力DISABLE	Enable
出力DISABLE	Enable
モジュール先読みレジスタ番号	----
モジュール終了レジスタ番号	----
詳細	
メモリス	

LIO: 入力32点、出力32点、読み込み4点のLocal I/O機能です。

モジュール構成定義

レジスタ範囲が重複しています。

OK

No.16 CNTR-01 印刷結果の誤り

CNTR-01 の設定データを印刷した場合に、固定パラメータ No.13 の値が間違っていたので、これを修正しました。

同期ステーション = H

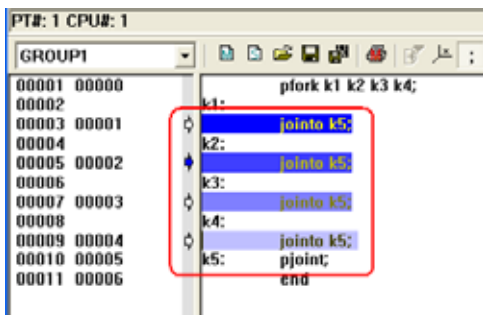
NO	固定パラメータ名称	CH1	CH2
1	CH使用選択	未使用	未使用
2	先頭レジスタ番号	0000	0020
3	A/B ⁿ 12 値信号形態選択	+5V差動入力	+5V差動入力
4	C ⁿ 12 値信号形態選択	+5V差動入力	+5V差動入力
5	A/B ⁿ 12 値信号極性選択	正論理	正論理
6	C ⁿ 12 値信号極性選択	正論理	正論理
7	n 12 値計数方式選択	A/B ⁿ 12 方式4 連倍	A/B ⁿ 12 方式4 連倍
8	カウンタモード選択	可逆カウンタ	可逆カウンタ
9	一致検出機能使用選択	未使用	未使用
10	一致割込み機能使用選択	未使用	未使用
11	周波数係数選択	X1	X1
12	CH 12 による計数方式	無効	無効
13	リッジカウンタ機能使用選択	有限長軸	有限長軸
14	指令単位選択	pulse	pulse
15	小数点以下桁数	3	3
16	機械一回転あたりの移動量	0000010000	0000010000
17	エンコーダ 1 7 比	00001	00001
18	機械 1 7 比	00001	00001
19	リッジカウンタのリセット位置	0000360000	0000360000
20	エンコーダ一回転あたりの n 12 値	0000016384	0000016384
21	フィードバック速度移動平均時定数	10	10

No.17 シンプルオペレーションでウィザードが不正終了する

Windows Vista と Windows XP-SP3 の環境でシンプルオペレーションを実行すると、アプリケーション自動生成時にシンプルオペレーションのアプリケーションがダウンしていましたので、これを修正しました。

No.18 デバッグ運転における PFORK 内カレントステップ位置の誤動作

PFORK にステップイン/ステップオーバをした際に、カレントの実行位置が PFORK の 2 並列目に移動してしまう問題がありましたので、これを修正しました。

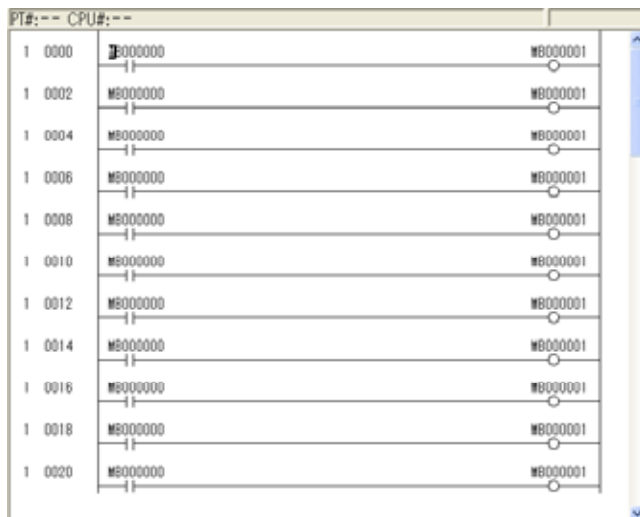


No.19 サーボバックパラメータバックアップファイル内のバージョン情報に関する問題

サーボバックパラメータバックアップファイルに格納されるバージョン情報が、特定のサーボバックを接続した場合に正しく格納されていませんでしたので、これを修正しました。

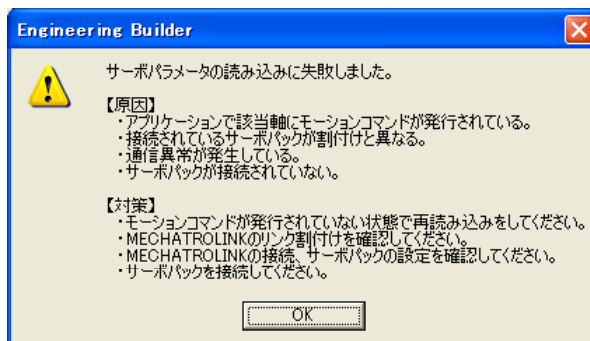
No.20 ラダー表示更新不具合

スクロールキーを押すと CP ラダー画面の表示がフリッカして表示されていたので、これを修正しました。



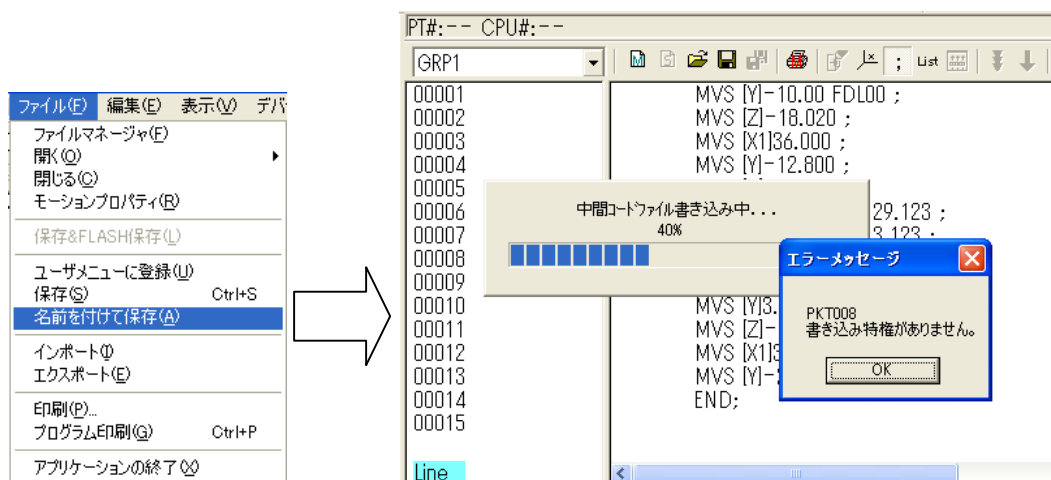
No.21 サーボバック現在値取得時の不具合

サーボバックで現在値を取得する際に、読み込みが失敗しても正常に終了したように表示されることがありましたので、警告表示を行うようにしました。



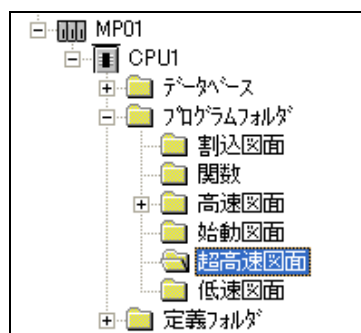
No.22 モーションプログラム保存特権不具合

既存のモーションプログラムに対して「名前をつけて保存」を実行すると「書き込み特権がありません」というエラーが発生して保存ができないことがありましたので、これを修正しました。



No.23 シンプルモード表示不具合

シンプルモード選択時、「超高速図面」に対応していないコントローラでもファイルマネージャ上に「超高速図面」が表示されていたので、これを修正しました。



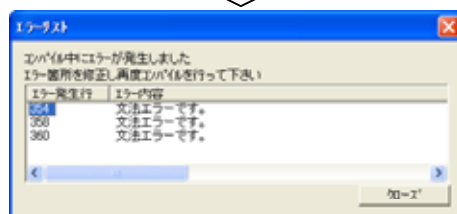
No.24 モーションプログラムシングルコート使用不具合

モーションプログラムのコメント中にシングルコートを使用した場合、コンパイルエラーが発生することがありましたので、これを修正しました。

```

1: PJOINT:
:
: MVS [Z]-1.700 [Y]-13.000 F3000K PFN: "Y-AXIS add ("08.1.21)
: MVS [Y]-25.000 F3000K PFN:
: MVS [Z]-6.310 F6000K PFN:
: MVS [W]-61.000 F1000K PFN: "OLD -1.050("08.1.21)
: MVS [Z]-11.450 F5000K PFN:
:
: OB1018=0:

```



No.25 アプリケーションコンバート不具合

アプリケーションコンバータを実行した際に、変換先の図面内の SEE 命令で指定された図面名称が空欄になってしまっていたことがありましたので、これを修正しました。

